

結核

◆倉敷市の結核の現状

倉敷市では、年間約50人の方が結核の治療を受けています。多くは、70歳以上の高齢者であり、体力が低下する高齢の方や病気などで体の抵抗力が弱っている方は、注意が必要です。

◆症状

結核の初期症状は、風邪に似ています。次のような症状が続くときは、すぐに医療機関を受診しましょう。

- ・長引く咳(2週間以上)
- ・たんが出る
- ・体重減少
- ・胸痛
- ・倦怠感(体がだるくて活力が出ない)
- ・微熱

高齢者は症状が出にくいいため、発見が遅れる傾向があります。特に、80歳以上の方は、過去に結核感染している方が多く、結核を発症する危険性がその他の年齢に比べて約5倍高くなります。

65歳以上の方は、年に1回の胸部レントゲン検査を必ず受けましょう。

(倉敷市の検診日程は、広報くらしき6月号別冊の「**倉敷けんしんガイド**」をご覧ください)

◆BCG予防接種を受けましょう

赤ちゃんは、結核の免疫を持っていません。生後1歳未満に接種を受けましょう。

(BCG予防接種については、**19ページ**をご覧ください)

◆結核と診断されたら…

ほとんどは6か月～9か月程度服薬を続ければ治すことができます。



結核と闘う
「シールぼうや」